

要 約

m-ニトロアニリンの藻類生長阻害試験を*Pseudokirchneriella subcapitata*を用いて実施した。

試験は、6濃度区[100、40.0、16.0、6.40、2.56及び1.02 mg/L(公比2.5)]及び対照区、暴露時間72時間、培養温度23±2℃、蛍光灯による照明(液面付近での光強度60～120 $\mu\text{E}/\text{m}^2\text{s}$ 、連続照明)、巡回振とう培養(約100回/分)で行った。藻類の生長は細胞濃度によって調べた。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、暴露開始時では設定濃度に対して95.3～101%、暴露終了時では96.8～98.8%であった。試験結果は測定濃度の時間加重平均値(前述の設定濃度を測定濃度表示にした場合98.1、38.7、15.6、6.28、2.54及び1.01 mg/L)に基づいて算出した。

生長曲線下面積、24-48時間及び24-72時間生長速度によって算出した *m*-ニトロアニリンの $E_b\text{C}_{50}(0-72\text{h})$ 、 $E_b\text{C}_{50}(24-48\text{h})$ 及び $E_r\text{C}_{50}(24-72\text{h})$ はそれぞれ15.2、34.6及び38.4 mg/Lであった。また、生長曲線下面積、24-48時間及び24-72時間生長速度での最大無影響濃度(NOEC)はそれぞれ6.28、15.6及び6.28 mg/Lであった。